

平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	05	花と緑のたかつ推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			676200		道路公園センター 整備課			井上	74560

事業の概要											
事業の概要		区内に潤いのある空間を創出するため、市民との協働による花と緑のまちづくりの推進を図ることを目的とし、次の内容を実施する。 (1)区内各所に設置したコンテナ・花壇の維持管理 (2)武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ円筒広場ガーデンの花苗植栽管理									
実施期間		事業開始年度 平成14年度		事業終了年度 —		予算中事業		環境まちづくり事業費			
地域の課題と現状		都市化によりまちの緑が減少している中、緑地や水辺の整備、花と緑のまちづくりの推進により潤いのある空間を創出する必要がある。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	財源 内訳	事業費		1,364		1,364					
		国庫支出金	市債								
		その他特材									
		一般財源	1,364		1,364						

計画 (Plan)	
事業の目的	区内に潤いのある空間を創出するため、市民との協働による花と緑のまちづくりの推進を図る。
今年度の事業の取組内容	1) 区内各所に設置したコンテナ・花壇の適正な維持管理 協力団体(「区民ミニ・ガーデン」連絡会)が適正に運営できる環境を整える。 2) 委託による武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ円筒広場ガーデンの花苗植栽管理と、キラリデッキ植栽体験の実施。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・「区民ミニ・ガーデン」連絡会と4回の会議で意見交換を行い、植栽体験2回を開催することで協働での活動を実現した。 ・「区民ミニ・ガーデン」連絡会の新規会員募集PRを積極的に実施し、新年度から3名の増員を予定することができた。 ・キラリデッキ円筒広場ガーデンの適切な管理により、年間を通じて四季折々の草花を楽しむ空間を提供できた。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	成果指標	会員数	目標	69				人
				実績	69				
	2	活動指標	コンテナ・花壇の箇所数	目標	11				箇所
				実績	11				
3	活動指標	キラリデッキ花壇植栽体験の実施回数	目標	1				回	
			実績	1					
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		都市化に伴う緑の減少により、花と緑のまちづくりの推進による潤いのある空間の創出が求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新規会員獲得のため、活動PRを市政だより(区版)、市ホームページ、キラリデッキ花壇植栽時や花街道の一斉植栽時に体験者募集を実施してきたが、今年度は花壇周辺へのポスター掲示、近隣小学校へのチラシ配布も実施してPR強化を実施した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	身近に四季を感じることができる緑豊かな地域環境が求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	四季折々の色彩豊かな緑の景観を創り出している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民と行政との適切な役割分担のもとに活動を実施している。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 区民と行政の協働で草花で彩られた空間を提供できているが、会員の拡大に向けて対策を検討していく。		

平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	10	高津区環境まちづくり普及啓発事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		高津区役所まちづくり推進部企画課		戸田	64122	

事業の概要										
事業の概要		「エコシティたかつ」推進方針に基づき、環境に関する区民意識の醸成及び行動を推進する取組を行う。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		環境まちづくり事業費		
		平成21年度		—						
地域の課題と現状		自然環境、社会環境、生活環境に関する諸課題に対し、地域の多様な主体が協力して総合的かつ多角的に取り組む必要があることから、区民一人ひとりの意識の向上及び環境配慮に関する積極的な取組を促す必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度		
		事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		財源内訳								
	国庫支出金		1,441	1,221						
	市債									
	その他特材									
	一般財源	1,441		1,221						

計画 (Plan)	
事業の目的	「エコシティたかつ推進方針」の区民に対する普及啓発活動のほか、区役所庁舎の「エコシティホール化」を推進し、環境学習の場として活用した環境啓発を実施する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「エコシティたかつ推進方針」の普及啓発活動を実施する。 区役所庁舎の「エコシティホール化」の一環として、緑のカーテンを実施するほか、庁舎電灯のLED化を促進する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> 区役所庁舎の「エコシティホール化」の一環として、緑のカーテンを実施したほか、区役所庁舎や高津市民館の電灯のLED化を実施した。 「エコシティたかつ」の普及啓発を図るため、「エコシティたかつ」のロゴ入りエコバッグを作成した。 気候変動適応策の考え方を分かりやすく伝えるため、南原小学校周辺地域の3Dムービー等を作成し、それらを用いて南原小学校において気候変動適応策に関する出張授業を行った。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	活動指標	緑のカーテンの実施	目標	1				回
				実績	1				
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		平成30年12月に国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動適応の推進のため担うべき役割を明確化した「気候変動適応法」が施行されるなど、気候変動への対応に緩和策と適応策の両輪で取り組むことがますます重要となっている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成31年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		これまで区役所庁舎等で実施してきた緑のカーテンについては、猛暑の影響により生育がよくないことなどから、取組を一旦終了し、見直しを行う。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	平成30年12月に国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動適応の推進のため担うべき役割を明確化した「気候変動適応法」が施行されるなど、気候変動への対応に緩和策と適応策の両輪で取り組むことがますます重要となっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	出張授業を実施した南原小学校児童へのアンケート結果を見ると、気候変動適応策への理解が深まったことが確認できる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	緑のカーテンよりも費用対効果の高い取組について検討の余地がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
南原小学校での出張授業のアンケート結果からは、児童の気候変動適応策への理解が深まっていることが確認できることから、来年度も引き続き、南原小学校周辺地域の3Dデータを作成するとともに、小学校での出張授業実施に向けて学校側と調整を行う。また、区役所庁舎や高津市民館電灯のLED化にも継続して取り組んでいく。		

平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	15	高津区民祭周辺環境対策事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		高津区役所まちづくり推進部地域振興課		渡邊	64352	

事業の概要										
事業の概要		20万人を動員する市内最大級のイベント「高津区民祭」において発生するごみを、単に廃棄物処理にとどまらず、地球環境問題を考え地域住民と連携した環境対策の機会とし、会場内に「ごみステーション」を設置し、分別処理や普及啓発活動を通じて環境意識の醸成を図ります。「ごみステーション」周辺の交通整理員を配置し、区民祭パレードの進行と連携した安全確保を行う。								
実施期間		事業開始年度 平成23年度		事業終了年度 —		予算中事業		環境まちづくり事業費		
地域の課題と現状		「川崎市一般廃棄物処理基本計画の行動計画」、「プラスチック製容器包装の分別収集拡大」等、3R行動の周知は日常様々な場面で行われているが、今後も普及啓発を続けていく必要がある。また、高津区が推進する「エコシティたかつ」の理念の浸透を図り、適応策・緩和策を提示し、地域における環境意識の高揚を促す必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費		1,840	1,840					
		国庫支出金								
	市債									
	その他特材									
	一般財源	1,840	1,840							

計画 (Plan)	
事業の目的	3R行動や、「エコシティたかつ」推進方針が地域に浸透し、具体的な環境行動が自発的に行われる環境をつくる。
今年度の事業の取組内容	区民祭会場内に設置した「ごみステーション」における分別回収の呼びかけ・ごみの減量やその他環境行動の普及啓発・周辺の安全確保する。

実施結果 (Do)												
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等		高津区民祭実行委員会を受託者とし、大山街道を会場とする区民祭のほぼ中央にメイン拠点としてごみステーションを設置した。展示・クールミストによる啓発を行うとともに、沿道警備・交通整理及びスタッフ・参加者の水分補給所として提供した。										
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指 標				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
		1	目標									
			実績									
		2	目標									
			実績									
		3	目標									
			実績									
		4	目標									
実績												

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		住民ニーズの多様化、地域交流やつながりの希薄化が進む中、ゴミ処理等の地域環境の保全や美化に関する地域課題への取組や啓発が求められている。		
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		区内の大型イベントである「高津区民祭」で、地域課題のひとつであるゴミや環境に関する啓発を行うことは、適及効果もあり、意義は大きい。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		多くの地域住民や地域団体が参加するイベントである「高津区民祭」で、広く周知・啓発ができ、また、そのイベントで発生するゴミ処理とともに地域環境を見つめ直す機会として効果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		委託団体等と協議を行い、より効率的・効果的な実施方法の改善を進めていく。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		I	II
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平成31年度も高津区民祭の開催準備が進められており、地域課題に沿った事業内容や執行手法の検討を行い、事業継続する。

平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	20	「エコシティたかつ」推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		松田	64121	

事業の概要									
事業の概要		「エコシティたかつ」推進方針に基づき、各プロジェクトについて、関係局や関係団体と連携して取り組みを推進し、区民の環境意識の醸成を図りつつ、持続可能な循環型都市「エコシティたかつ」の実現を目指す。 【各プロジェクト】 (1)「エコシティたかつ」推進会議及び「エコシティたかつ」推進フォーラム (2)たかつの自然の賑わいづくり事業 (3)学校流域プロジェクト (4)たかつエコシティツアー							
実施期間		事業開始年度 平成20年度		事業終了年度 —		予算中事業		環境まちづくり事業費	
地域の課題と現状		高津区でも顕在化しつつある自然環境、社会環境、生活環境に関する諸課題に対して、地域の多様な主体が協力して、総合的かつ多面的に取り組む必要がある。特に、世界的な気候変動(地球温暖化)が進行し、異常気象や局地的豪雨などが区内でも発生し始めており、従来の地球温暖化緩和策に加えて、流域思考に基づく地球温暖化適応策と生物多様性保全の視点から取り組みを進める必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	4,442	4,191						
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	175	175						

計画 (Plan)	
事業の目的	(1)環境を大切にすることを育み、生活様式の変革を促すことで、「生活の質」を向上させ、豊かな市民生活の実現、新たな文化・価値創造を目指す。 (2)水系や流域、丘陵、崖線、谷戸などのランドスケープを重視し、生命の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を、地域から推進する。 (3)局地的豪雨や台風の巨大化等による洪水など、気候変動によって増大すると予想される災害に適応するため、流域思考に基づき地形や水循環の特性に即した「水災害適応型都市」づくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	(1)「エコシティたかつ」推進会議を年3回、「エコシティたかつ」推進フォーラムを年1回開催するとともに、会議・フォーラムを通じて、次年度以降の取り組みの方向性について検討・策定する。 (2)たかつの自然の賑わいづくり事業は、昨年度に引き続き緑ヶ丘公園内のモデル地区において実践的な取り組みを展開するとともに、児童向けのイベントを実施する。 (3)学校流域プロジェクトは、ピオトープ整備校に対して環境学習支援を継続実施する。また、教職員向けの研修会を実施する。 (4)「エコシティツアー」として小網代の森見学ツアーを開催し、今年度から新たに就任した委員に「適応策」と「生物多様性保全」の取組について紹介する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	(1)「エコシティたかつ」推進会議を3回開催し、平成31年度の取り組みの方向性について検討・策定した。また、「エコシティたかつ」推進フォーラムを開催した(平成30年12月2日)。 (2)たかつの自然の賑わいづくり事業は、市立緑ヶ丘公園において、適応策・生物多様性保全のための実践的な取り組みを2つ実施した。①児童向けイベント「たかつ生きもの探検隊」(平成30年9月17日)、②市民向けイベント「たかつ水と緑の探検隊」(平成31年1月26日)。 (3)学校流域プロジェクトは、区内のピオトープ整備校に学習支援を実施するとともに、教職員向け研修会を実施した。 (4)「エコシティツアー」として小網代の森見学ツアーを開催し、今年度から新たに就任した委員に「適応策」と「生物多様性保全」の取組について紹介した(平成30年10月15日)。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	活動指標	エコシティたかつ推進会議の開催	目標 3 実績 3				回
	2	活動指標	エコシティたかつ推進フォーラムの開催	目標 1 実績 1				回
	3	活動指標	たかつの自然の賑わいづくり事業の開催	目標 2 実績 2				回
	4	活動指標	たかつエコシティツアーの開催	目標 1 実績 1				回

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	国及び市でも適応策に関する計画・方針が策定されてきており(国:気候変動の影響への適応計画(H27)、市:川崎市気候変動適応策基本方針(H28)、国:気候変動適応法(H30))、適応策に関する関心・機運が高くなってきている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	世界的な気候変動が進行し、異常気象や局地的豪雨などが区内でも発生し始めており、従来の地球温暖化緩和策に加えて、流域思考に基づく地球温暖化適応策と生物多様性保全の視点から取り組みを進める必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続してイベント等を開催することで区民に環境意識の醸成を図ることができ、アンケートの結果からも一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	学校流域プロジェクトにおいて、職員の負担が大きいため、最初の数クラスのみ対応するなど、改善の可能性はある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続き、「エコシティたかつ」推進会議や各種イベントを通じて、環境問題を身近に、かつ効果的に感じてもらい、区民の環境意識の醸成を更に図る。 また、今年度に「エコシティたかつ」推進方針を見直ししたため、今後の事業展開について検討を行っていく。